

令和8年度第1回川南町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和8年5月28日（木）午前11時～午前11時20分

2 場 所 川南町役場本館2階応接室

3 出席者 宮崎吉敏町長

平野博康教育長、椎木祐司教育長職務代理者、栗山栄子委員、

日高美枝子委員、染川龍子委員

川崎紀朗教育課長、島崎博英教育対策監、橋口実課長補佐

○橋口

ただ今から「令和8年度川南町第1回総合教育会議」を開会します。まず初めに、宮崎町長より御挨拶をお願いします。

○町長

皆様、おはようございます。委員の皆様におかれましては、日頃から本町の教育行政の推進に多大なる御尽力をいただき、心よりお礼申し上げます。

小学校の再編については、保護者や地域の方々の様々な思いがあることと思います。しかし、子どもたちにより良い教育環境を提供することが、私たちに課せられた責任だと考えています。この度、基本方針を一つの形として取りまとめていただきましたことに、教育長をはじめ、委員の皆様へ感謝申し上げます。

さて、話は変わりますが、中学生は総合学習の中で川南町について学んでいると聞いています。その成果を発表、議論する場として子ども議会の開催を検討しています。町

執行部が実際の議会さながらに答弁や対応を行いたいと考えています。中学生が真剣に考えて提案したことが一つでも形になれば、子どもたちにとって大きな喜びになると思います。議会からも理解を得ています。子どもたちは町の宝ですので、今後とも健やかに育ってくれることを願っています。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○橋口

ありがとうございました。続きまして、3、協議に入ります。本来であれば、総合教育会議は、町長が招集することとなっていますので、町長に会議の議長をお願いするところですが、本日の会議は、先ほどの教育委員会定例会で決定した川南町立小学校の再編に係る基本方針の報告となっておりますので、私の方で進めさせていただきます。

それでは、教育長より基本方針についての概要説明をお願いします。

○教育長

本日9時30分より5月の教育委員会定例会を開催しました。その中で、「川南町立中学校の統合に係る基本方針の策定について」の議案が可決されましたので、報告をさせていただきます。

内容につきましては、資料のとおりとなっております。基本的な部分を説明させていただきます。7ページに示しているとおり、今後児童の数は減少していきますので、学校規模の適正化、教育環境の充実等を考えると段階的な再編を検討しなければならないと考えています。将来的には、町内を一校に再編し、小中一貫校にしていくという考え方です。

小学校の段階的な再編については、教育委員会が小学校5校を一律的に何年度に再編

しますと示すのではなく、再編には保護者や地域の皆様の御理解が必要ですので、御意見を伺いながら進めていくものであります。基本方針の中では、将来的な小中一貫校の開校予定時期を令和20年度と想定しています。理由として、小学校1年生から中学校3年生までの9学年全てが通常学級で2学級になり、その状態が以後しばらく続くと見込まれるためです。それまでは、段階的な再編を進めていく予定にしています。私からの説明は以上です。

○橋口

町長から御意見ををお願いします。

○町長

内容については、特にありません。今回の議会、以前の議会でも小学校に関する一般質問が出ていましたので、この段階で、小学校の再編に係る基本方針を示していただいたことは非常に良かったと思います。これで、子どもたちに対する教育環境が整っていくと考えます。私からは以上です

○橋口

ありがとうございます。教育委員の皆様からは何か御意見はありませんか。

〔「なし」と言う声あり〕

○橋口

それでは、3、協議を終了します。4、その他に入ります。何か御意見はありませんか。

〔「なし」と言う声あり〕

○橋口

以上をもちまして令和8年度川南町第1回総合教育会議を終了します。お疲れ様でした。

上記は、令和8年度第1回川南町総合教育会議のてん末に相違ないことを証明する。

令和8年 6 月 25 日

川 南 町 町 長

宮崎 志敏

川南町教育委員会 教育長

平野 博康